

大会要項

大会名称	第8回 J:COM CUP 学童軟式野球大会 2016
主催	J:COM
共催	J:COM CUP 学童軟式野球南関東地区連合会 麻生区少年野球連盟 狛江市少年野球連盟 相模原市少年野球協会 世田谷区少年野球連盟 多摩区少年野球連盟 調布市少年野球連盟 秦野市少年野球連盟 町田市少年野球連盟
主管運営	世田谷区少年野球連盟
協賛	
後援	世田谷区 ・ 東京都東部公園緑地事務所
協力	
大会目的	子供たちが学童軟式野球で元気に活躍、活動している姿をケーブルテレビ（J:COMチャンネル）で放映することによって、各地区での子供たちの健全育成活動を地域の方々により深く知っていただくこと、ジェイコムエリアの学童軟式野球の交流を深めることを目的とする。
大会日程	平成28年11月26日（土）：第一日 12月 3日（土）：第二日（予備日：12月4日（日））
大会会場	世田谷区総合運動場野球場（開会式・閉会式 会場） 東京都世田谷区大蔵4-6-1 都立砧公園野球場 東京都世田谷区砧公園1-1
出場チーム	主管地区の予選大会においての優勝チームが原則参加する。 （地区承認された代理チームを認める） 大会日程から各地区1チーム合計8チームによるトーナメント大会とする。
大会事務局	株式会社ジュピターテレコム 神奈川第二ブロック 電話 044-959-5101 FAX 044-959-5109
ケーブルテレビ放送について	大会初日はハンディーカメラ1台（ニュース班）にて取材、準決勝戦および決勝戦は複数台のカメラにて撮影。 1月にJ:COMチャンネルにて、特別番組を放送。また、2月には全試合をほぼノーカットで、J:COMオンデマンドで無料配信予定。

J:COM CUP 学童軟式野球大会 大会役員 (敬称略)

大会名誉会長	株式会社ジュピターテレコム	神奈川第二ブロック長	寺尾 弘一
大会会長	株式会社ジェイコムイースト	世田谷局 局長	上島 真二
大会相談役	麻生区少年野球連盟 相模原市少年野球協会	相談役 顧問	横田 まさお 老月 秋美
大会副会長	J:COM CUP 学童軟式野球南関東地区連合会	会長	小林 時治
大会実行委員長	世田谷区少年野球連盟	会長	穴戸 平和
大会副実行委員長	世田谷区少年野球連盟 世田谷区少年野球連盟 世田谷区少年野球連盟 世田谷区少年野球連盟 狛江市少年野球連盟	副会長 副理事長 副理事長 副理事長 会長	小松 大祐 釜屋 邦明 野口 健 後藤 雅世 中田 大作
実行委員	相模原市少年野球協会 多摩区少年野球連盟 調布市少年野球連盟 秦野市少年野球連盟 町田市少年野球連盟 株式会社ジェイコムイースト 株式会社ジェイコムイースト 株式会社ジェイコムイースト 株式会社ジェイコムイースト	理事長 会長 会長 理事長 理事長 調布局 局長 相模原・大和局 局長 秦野・伊勢原局 局長 町田・川崎局 局長	真壁 泰 中村 清武 高橋 誠一 今井 茂文 大淵 清一 荒井 明 稲吉 正美 上田 康夫 矢端 雅子
大会事務局長	麻生区少年野球連盟	副会長	吉水 清
大会副事務局長	世田谷区少年野球連盟 麻生区少年野球連盟 株式会社ジェイコムイースト	事務局長 事務局長 世田谷局 管理部長	長峰 正俊 長塚 正人 櫻井 真二
大会事務局	麻生区少年野球連盟 狛江市少年野球連盟 相模原市少年野球協会 多摩区少年野球連盟 調布市少年野球連盟 秦野市少年野球連盟 町田市少年野球連盟 株式会社ジェイコムイースト 株式会社ジュピターテレコム 株式会社ジュピターテレコム 株式会社ジュピターテレコム 株式会社ジュピターテレコム	副事務局長 事務局長 副理事長 事務局長 事務局長 事務局長 事務局長 世田谷局 神奈川第二ブロック 神奈川第二ブロック 神奈川メディアセンター 神奈川メディアセンター	鈴木 毅 曾我 智 後藤 忠弘 富樫 淳一 横川 巧 飯塚 雄三 八木 茂 神谷 学 内藤 招彦 山口 昌宏 高橋 武洋 高木 俊明
大会審判技術部長	麻生区少年野球連盟	審判部長	友部 宗男
大会審判長	世田谷区少年野球連盟	審判部長	小此木 滋
大会副審判長	狛江市少年野球連盟	審判部長	須藤 利三
大会審判員	相模原市少年野球協会 多摩区少年野球連盟 調布市少年野球連盟 秦野市少年野球連盟 町田市少年野球連盟	審判部長 審判部長 審判部長 審判部長 審判部長	横島 達郎 石垣 茂行 大和田 恭成 橋本 宣義 林 宏芳

J:COM CUP 学童軟式野球南関東地区連合会 役員 (敬称略)

連合会会長	麻生区少年野球連盟	会長	小林 時治
連合会副会長			8地区会長・理事長

開催地大会運営委員 (世田谷区少年野球連盟) (敬称略)

穴戸 平和	小松 大祐	田中 克己	釜屋 邦明	野口 健	後藤 雅世	長峰 正俊
菅沢 俊紀	小此木 滋	木許 伸雄	小森 俊臣	森次 寛	谷本 敬一	手島 喜浩
稲葉 常典						

開会式

期日 平成28年11月26日(土) ※雨天の場合12月3日(土)に順延(午前6時30分に決定する)

場所 世田谷区総合運動場野球場

集合時間 午前8時(役員)
午前8時30分(選手)

開会式 午前9時30分

式次第 1. 入場行進

2. 開会宣言 世田谷区少年野球連盟 副会長 小松 大祐

3. 国旗掲揚

4. 優勝旗返還 山野レッドイーグルス

5. 主催者挨拶 株式会社ジュピターテレコム 神奈川第二ブロック長 寺尾 弘一

6. 連合会長挨拶 J:COM CUP学童軟式野球南関東地区連合会 会長 小林 時治

7. 実行委員長挨拶 世田谷区少年野球連盟 会長 穴戸 平和

8. 大会役員紹介 J:COM CUP学童軟式野球南関東地区連合会 会長 小林 時治

麻生区少年野球連盟

麻生区少年野球連盟 相談役 横田 まさお

狛江市少年野球連盟 会長 中田 大作

相模原市少年野球協会 顧問 老月 秋美

相模原市少年野球協会 理事長 真壁 泰

世田谷区少年野球連盟 会長 穴戸 平和

世田谷区少年野球連盟 副会長 小松 大祐

世田谷区少年野球連盟 副理事長 釜屋 邦明

世田谷区少年野球連盟 副理事長 野口 健

世田谷区少年野球連盟 副理事長 後藤 雅世

多摩区少年野球連盟 会長 中村 清武

調布市少年野球連盟 会長 高橋 誠一

秦野市少年野球連盟 理事長 今井 茂文

町田市少年野球連盟 理事長 大淵 清一

株式会社ジュピターテレコム 神奈川第二ブロック長 寺尾 弘一

株式会社ジェイコムイースト 世田谷局 局長 上島 真二

株式会社ジェイコムイースト 相模原・大和局 局長 稲吉 正美

株式会社ジェイコムイースト 調布局 局長 荒井 明

株式会社ジェイコムイースト 秦野・伊勢原局 局長 上田 康夫

株式会社ジェイコムイースト 町田・川崎局 局長 矢端 雅子

9. ご来賓挨拶 世田谷区教育委員会 教育長 堀 恵子 様

10. ご来賓紹介 世田谷区スポーツ推進部 スポーツ推進担当部長 五十嵐 慎一 様

公益財団法人 世田谷区スポーツ振興財団 理事長 野原 明 様

公益財団法人 世田谷区スポーツ振興財団 事務局長 尾崎 真也 様

11. 審判長訓示 世田谷区少年野球連盟 審判部長 小此木 滋

12. 選手宣誓 ※未定

13. 始球式 ※未定

14. 閉式のことば 株式会社ジェイコムイースト 世田谷局 局長 上島 真二

15. 選手退場

閉会式

期日 平成28年12月3日(土)

場所 世田谷区総合運動場野球場

時間 決勝戦終了後

式次第 1. 選手整列 4チーム(優勝・準優勝・第三位)

2. 表彰・講評 株式会社ジュピターテレコム 神奈川第二ブロック長 寺尾 弘一

3. 大会役員挨拶 優勝地区代表者 ※未定

準優勝地区代表者 ※未定

4. 閉会宣言 世田谷区少年野球連盟 会長 穴戸 平和

5. 選手退場 ダイヤモンド1周して退場

学童野球大会約款

本大会は、2016年度公認野球規則、2016年度競技者必携少年野球に関する事項、および次に定める特別規則を適用する。

1. 試合イニング
試合は7回戦とするが、試合開始後1時間30分を経過したらそのイニングを最終回とし、均等回の得点で勝敗を決める。
2. コールドゲーム(決勝戦は適用しない)
3回終了時以降10点以上の得点差、5回終了時以降7点以上の得点差がついた場合は、コールドゲームとする。
3. 特別継続試合
試合開始より1時間半以内で、5回以前に中止になった場合(ノーゲーム)、および5回を過ぎて同点で試合が中止になった場合(正式試合でタイゲーム)は、再試合をせず翌日または後日継続試合として行う。また5回表が終了した時点で後攻チームの得点が多い場合は成立試合となり、後攻チームの勝ちとする。
4. タイブレーク方式
7回が完了、若しくは試合開始から1時間30分が経過して同点の場合は、タイブレーク方式を行う。前イニングの最終打者を一塁走者、その前の打者を二塁、三塁の走者とし、無死満塁の状態で行う。タイブレーク方式は1イニング行う。それでも勝敗が決定しない時は、抽選で勝敗を決定する。
5. ベンチ入り
ベンチに入場できる者は、代表者1名、監督1名、コーチ2名、スコアラー1名、マネージャー1名(選手以外大人6名以下)とする。選手登録は、20名以内とする。また、代表、スコアラー、マネージャーはチーム帽子とウェア等(ユニフォーム以外)を着用する。
6. 使用球
(財)全日本軟式野球連盟公認球(ナガセケンコーC号)とする。〈大会本部で準備〉
7. 申し出
審判に対する申し出は、監督および当該選手のみが行う。ただし審判のジャッジには抗議できない。
8. 用具など
試合中打者、走者、次打者、ベースコーチは公認(JSBB)の両耳付ヘルメット、捕手は公認マスク、プロテクター、レガース、ヘルメット、ファールカップを着用しなければならない。金属、ハイコンバットは公認マーク入りを使用すること。
9. その他
 - 1) ベンチ、およびスタンドでは笛や太鼓などの鳴物の使用を禁止(監督のみメガホン可)し、相手チームへの野次や挑発的な行為はしない。同類の行為を続けた場合はチーム責任として監督を退場とする。また、各チームでゴミ袋を用意し、ゴミは持ち帰る。
 - 2) ベンチは抽選会で決定した組み合わせ番号の若いチームを一塁側とし、試合前のシートノックは後攻のチームから各5分間とする。※外野ノック不可。(シートノック時の補助員はヘルメット着用のこと)
 - 3) 各チームは試合開始の60分前までに集合し、その旨を大会本部に報告した後、メンバー表(6枚)を提出すると共に球審立会いのもと、両チームのキャプテンで攻守を決定する。攻守決定を行う時、ファールカップの提示を行う。また、投球練習(先発バッテリーのみ)を行うことが出来る。試合終了後は、両チームの指導者はグラウンド整備を手伝うものとする。
 - 4) 投手の準備投球は、試合開始の裏表、救援投手は捕手を相手に5球とし、次回からは3球とする。
 - 5) 大会約款に定めない事項で協議が必要な場合は、大会本部と参加連盟で協議し、これを解決する。
 - 6) 本大会に参加する選手は「スポーツ安全保険」に加入すること。また大会期間中の事故は同保険の範囲内のみで対応される。
 - 7) グラウンドに出る場合は、打撃用ヘルメットを着用する。
 - 8) 先頭打者とランナーコーチは自軍の円陣の中には加わず速やかに所定の位置につく。
 - 9) 外野へのファールボールに対して、レフト・ライトの選手は積極的にボールを取りに行き試合のスピードアップへの協力をお願いします。
 - 10) 全軟連・学童部の投球規定を採用し、投球は1日7イニング迄とする。但し、タイブレーク方式を行う場合、直前のイニングを投げ切った投手に限り、8イニングを投げる事ができる。